

当院での胃がん検診について

当院では諸事情により新規の患者様への胃内視鏡検査の実施を停止しており、胃がん検診についても現在はX線(バリウム)検査でのみの受付となっております。

当院で特定検診やがん検診を受検される方で、過去に萎縮性胃炎などの診断を受けて内視鏡での検査が必要とされている方には内視鏡検査のできる医療機関へのご紹介なども行っております。検診受検時に担当医にご相談下さい。

また、これまでピロリ菌の感染や萎縮性胃炎の診断を受けたことがなく現在無症状の方及び、50歳未満で胃がん検診の対象にならない方については、まず胃がんリスク検診を受けられることをお勧めします。

胃がんリスク検診は、血液検査で簡単に調べることができるものであり、近年は横須賀市・町田市など多くの自治体で取り組み始めています。横浜市はまだ補助を行っていませんが、当院では3500円で実施しています。胃がんそのものを見つける検査ではありませんが、胃がん発生のほとんどがピロリ菌による萎縮性胃炎のある方に生じていることを踏まえて、ピロリ菌感染と萎縮性胃炎の程度を推し量ることで胃がんのリスクの大きさを類推することができます。ご関心のある方は検診の予約や受診の際にご相談下さい。

胃がんリスク層別化検診 (ABC検診)

群分類	A群	B群	C群	D群
ピロリ菌抗体価	—	+	+	—
ペプシノゲン値	—	—	+	+
胃粘膜萎縮予測	ない	軽度	進んでいる	高度
胃がんの危険度	低			高
1年間の胃がん発生頻度予測	ほぼゼロ	1000人に1人	500人に1人	80人に1人
胃内視鏡検査	原則推奨せず	定期的内視鏡検診・専門医受診を勧奨		
ピロリ菌除菌	不要	他のピロリ菌検査陽性なら必要		

認定NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構HP(2019.6)より改変